

始良市衛生協会だより

親子で環境学習、ごみ削減やリサイクルを学ぶ

8月22日に環境学習バスツアーを実施しました。これは、子どもや子育て世代の環境問題に対する理解と関心を深め、積極的に環境保全活動を行う意欲を高めるために行ったもので、15組の小学生親子が参加しました。当日の様子は始良市ホームページにおいて、動画でも配信しています。(https://www.city.aira.lg.jp/seikatsu/kurashi/gomi/esityokai.html)

あいら清掃センターの視察では、ごみが焼却処分される工程を学んだ後、かもろ親子読書会 Hanahana のみなさんによるごみやいのちに関する絵本の読み聞かせがありました。実際に施設内を見学すると、間近でごみが焼却される様子から、自分たちの生活から大量のごみが発生していることを実感していました。

ツアー最後の重富海岸自然ふれあい館「なぎさミュージアム」では、干潟の生き物を見学した後、グループに分かれ、ワークショップで生物多様性について学びました。



◀かもろ親子読書会 Hanahana のお話に聞き入る子どもたち



◀干潟について親子で考える参加者



中央制御室の様子▶

干潟の生き物を観察する子どもたち▶



次に訪れた始良リサイクルセンターでは、ごみを少しでも減らし、再資源化するために始良市で取り組んでいる資源物の分別収集について学びました。



◀分別方法を熱心に学ぶ子どもたち

～保護者の感想～

- ★大量のごみが処理される様子を間近に見て、ごみについて改めて考えさせられた。
- ★ごみについて親子で学ぶ良い機会になった。
- ★ごみの分別に家族で協力してごみ減量に取り組みたい。
- ★買い物のし過ぎに気をつけたい。



パッカー車の迫りに驚く子どもたち▶

～子どもの感想～

- ★ごみ分別の手伝いをがんばりたい。
- ★お母さんが作ってくれた料理を残さず食べる。
- ★重富海岸にはいろいろな生き物がくらしていることが分かった。

来年2月には、大人を対象とした環境学習バスツアーを企画しています。始良市の広報紙等でお知らせしますので、ご期待ください。



あいらEM自然の里が「生ごみは燃やしませんプロジェクト」を提案

昨年度から始まった各種環境改善活動団体事業補助金制度ですが、これまでに3つの団体が活用し、成果を上げています。今年度は、あいらEM自然の里が提案した「生ごみは燃やしませんプロジェクト」に助成金の15万円が活用されます。

このプロジェクトでは、全8回の講座が開催され、EMを活用した石けんや生ごみ堆肥、EMボカシづくりなどを実践するとともに、野菜や花の栽培、料理教室など身近な体験を通じて、河川浄化や自然保護、ごみ減量などの環境問題への意識啓発を行い、人々のつながりの輪を広げようというものです。

12月以降も3回の講座が予定されており、始良市の広報紙で紹介されますので、参加してみませんか。



初回講座の様子

始良伊佐地区衛自連の担当理事が湧水町の活動を視察

10月5日、始良・伊佐地区の衛生自治団体で組織する衛生自治団体連合会の理事及び代議員、関係職員38名が湧水町の資源物分別収集に関する取り組みについて視察を行い、当協会からも8名が参加しました。

まず、いきいきセンターくりの郷（湧水町総合交流施設）にて資源物分別収集の変遷や方法、湧水町の現状について説明がありました。

現地視察では、最初に可燃ごみと資源物の排出場所として利用されているごみステーションを訪問し、分

別状況や課題などを確認しました。

次に訪れた三州リサイクルセンターでは、集められた資源物が中間処理される様子を視察しました。会場では、参加者が分別の精度や中間処理後の資源物の出荷先などに関心を持ち、質問などを行いました。

現地視察後には、湧水町が抱える生活環境関連の課題や今後の取り組みに関する質問等も寄せられるなど、活発な意見交換が行われました。



湧水町の現状の説明を受ける理事・代議員



ごみステーションの状況を確認



三州リサイクルセンターでの中間処理の状況

始良市衛生協会は、年間100トンの衣類の再資源化を目指します



引越しや衣替えなどで不要な衣類がありましたら、衣類リサイクルにご協力ください。

昨年10月に衣類やタオル類のリサイクルを開始してから約1年が経過しました。これまでに資源物集荷所に排出された衣類等の総重量は、約37トンです。これらの衣類等は、海外に輸出され、新たな持ち主のもとで大切に使用されています。

これまで廃棄された衣類等を処分する場合、可

燃ごみとして焼却処分していました。衣類リサイクルで資源化できる量を増やすことができれば、可燃ごみとして焼却するごみを減らすことができます。

衣類リサイクルは可燃ごみ減量の効果的な手段として期待されています。

問合せ先 衛生協会事務局

市役所本庁 生活環境課 生活環境係 TEL66-3111(内線144)